



「令和4年度 学校・教育評価アンケート」結果から

校長 佐藤 雅彦

令和5年、新年あけましておめでとうございます。
昨年12月中旬時期の寒さも、幾分やわらぎ、過ごし
やすいお正月となったのではないのでしょうか。

先週6日(金)には、児童生徒が元気な顔を揃え、
3学期始業式を挙行することができました。校長の
話では、桜・梅・桃・李(すもも)の4つの花の漢字
で成り立つ熟語「桜梅桃李」を紹介しました。桜には
桜の花の良さがあり、梅にも梅の花の気品があり、桃
には桃の花の輝きがあり、李には李の花の美しさ
があります。人間も同じであり、どの人にもそれぞれ良
さや得意なことがあります。人と比べるのではなく、
自分の良さを大切にしてほしい、そして、個性を伸ば
し、苦手なことにもチャレンジしながら、自分だけの
花を美しく咲かせてほしいと伝えました。ロンドン
日本人学校公式 Blog には、小学部5学年から中学部
3学年までの「感想」の一部を掲載する予定です。

さて、日本においては、昨年末から、コロナ変異株
の感染が広がっています。WHO(世界保健機関)が
4日に公表したレポートによりますと、1月1日ま
での1週間で最も多い感染者が報告された国は日本
で、94万6130人でした。同公表において、英国
は同時期1週間の感染者数が3万7534人と日本
の4%ほどの人数でしたが、現在、インフルエンザの
流行が懸念されることもあり、引き続き感染拡大防
止の対策を行いつつ、途切れることなく教育実践を
重ねていきたいと考えています。

学校・教育評価アンケート

3学期がスタートし、令和4年度もまとめの時期
を迎えています。本校では12月に保護者の皆様
にご協力をいただき、「学校・教育評価アンケート」
を実施しました。

この取組では、保護者の皆様のみならず、小学部

5学年から中学部3学年までの児童生徒全員、教職
員全員を対象に、相互に関連する質問項目を含んだ
アンケートを行い、それぞれの結果を比較する中か
ら、本校が重点として取り組んでいる教育の強み、改
善すべき点や課題となることを明らかにします。結
果は、「肯定的評価」「否定的評価」「分からない」の
3つに分類してグラフ表示し、今年度との比較がで
きるよう別紙に昨年度の結果を表示しています。

今年度の保護者アンケートでは、全体的に概ね高
い肯定的評価をいただくことができました。その中
でも有意性があると判断できる項目がいくつかあり
ます。まず、肯定的評価として、「学校は各種のたよ
りやストリーム・ブログなどで、教育目標や合言葉、
学校の様子を分かりやすく伝えている」98.6%、
「学校は、グーグルクラスルームを活用し、より確
実・迅速に学校からの連絡や配布資料を発信し、ペー
パーレス化も進めている」97.6%となっていま
す。毎週の学級ブログや、月毎に発行される学校・学
年たより、さらに、様々な連絡ストリーム、毎日の公
式 Blog などの取組について、多くの保護者の方から
評価いただいたものと考えます。

しかし、一方、「我が子は、グーグルクラスルーム
を含めた、パソコンやタブレットを使った学習をす
ることでICT活用能力が向上したと感じる」につ
いて、否定的評価が20.1%となっています。iPad
を貸与している学年が小学部4年生以上ということ
もありますが、発達段階に応じたICT活用能力の
向上は本校の研究テーマでもありますので、今後、研
鑽を重ね、改善を図らねばなりません。さらには、「我
が子は、文章を読み取ったり、書いたりする力がつい
たと感じる」の否定的評価は12.1%でした。授業
において、読み取り、書く活動を多く取り入れ、子ど
もたちの言語能力を育ててまいります。

そして、今年度夏季休業期間中に本校舎全ての防火扉を交換設置したことや、不燃掲示板を設置し、時季に応じて貼りかえられていく掲示物等を評価いただき、「学校の施設・設備や掲示物等は、子どもの教育環境としてよく整備されている」についての肯定的評価が、93.8%昨年度比+4ポイントでした。

児童生徒アンケートでは、「先生方は、授業で教え方を工夫していると感じる」は昨年度に引き続き、さらなる前進が見られ、96.6%の肯定的評価となりました。ロンドン日本人学校の各教員が、高い専門性を持ち、授業で勝負するという決意のもと、子どもたちにとって主体的対話的で深い学びとなるよう、日々努めていることが報われた思いがいたします。

また、「私は、自分から気持ちの良いあいさつをするように心がけている」が、89.1%と昨年度比-3ポイントとなりました。同項目の保護者アンケートでは、91.7%と+2ポイントでしたが、本校の伝統である気持ちのよいあいさつが進んでできるように児童生徒の気持ちを喚起してまいります。

本校の特色である英語・英会話教育は、肯定的評価が若干減少しており、「私は、授業をはじめとした学校の取組を通じて、英語の力がついたと感じる」は、81.7%でした。そして、今年度新しく質問項目に加えた「私は、英語・英会話の授業を通して英国の社会・文化・歴史やPSHE等の理解を深めることができた」については、90.3%の児童生徒が肯定的評価をしています。英語・英会話教育は、ロンドン日本人学校ならではの取組でもあることから、引き続き満足度の高い授業実践を目指さなければなりません。

児童生徒アンケート結果の中で、なんといっても嬉しく感じた項目は、「私は、学校の各教科の授業に一生懸命取り組んでいる」97.3%でした。子どもたちが概ね充実した学校生活を送ることができているのだと感じられました。

「私はグーグルクラスルームで友達や先生とつながることができる」の否定的回答が22.4%と高いのは、コロナ感染による休校等がない1年間だったことの現れでもあるのだと思いますが、例えば、風邪、インフルエンザによる学年・学級閉鎖等の際や、

毎日のホームワークにおけるグーグルクラスルームの活用など、さらに研究してまいります。

教職員アンケートでは、「私は、教育目標や合い言葉の具現化のために職員同士で助け合い、協力・連携して職務を遂行している」、「私は、個々の児童生徒の問題や相談に向き合い、その解決に向けて共に考えるように心掛けている」の二つの項目がともに100%という結果でした。これはとても肯定的評価が高い項目ですが、保護者アンケートでは「学校は、児童生徒理解と情報収集に努め、問題を早期に把握して素早く対応している」の肯定的評価は、86.5%に止まっており、有意な差が見られます。取り組んでいるつもりで終わっていないか、子どもや保護者に取組の状況が分かりやすく伝わっているのかなどについて、さらに検証し、学校体制として見直しを継続する必要があります。

さらに、「学校は、教育目標や合い言葉、本年度の重点項目を理解し、その具現化を意識して運営されている」67.9%、「学校は、職員同士が気兼ねなく意見交換できる風通しの良い職場である」50%の二つの項目は、昨年度から若干の改善は見られるものの、依然として否定的評価の多い項目です。

「私は…」であれば、100%近い肯定的評価結果となるものが、「学校は…」と主語が変わると否定的評価値が高くなる場所には、管理職である私が成すべき課題も見えてくると考えています。

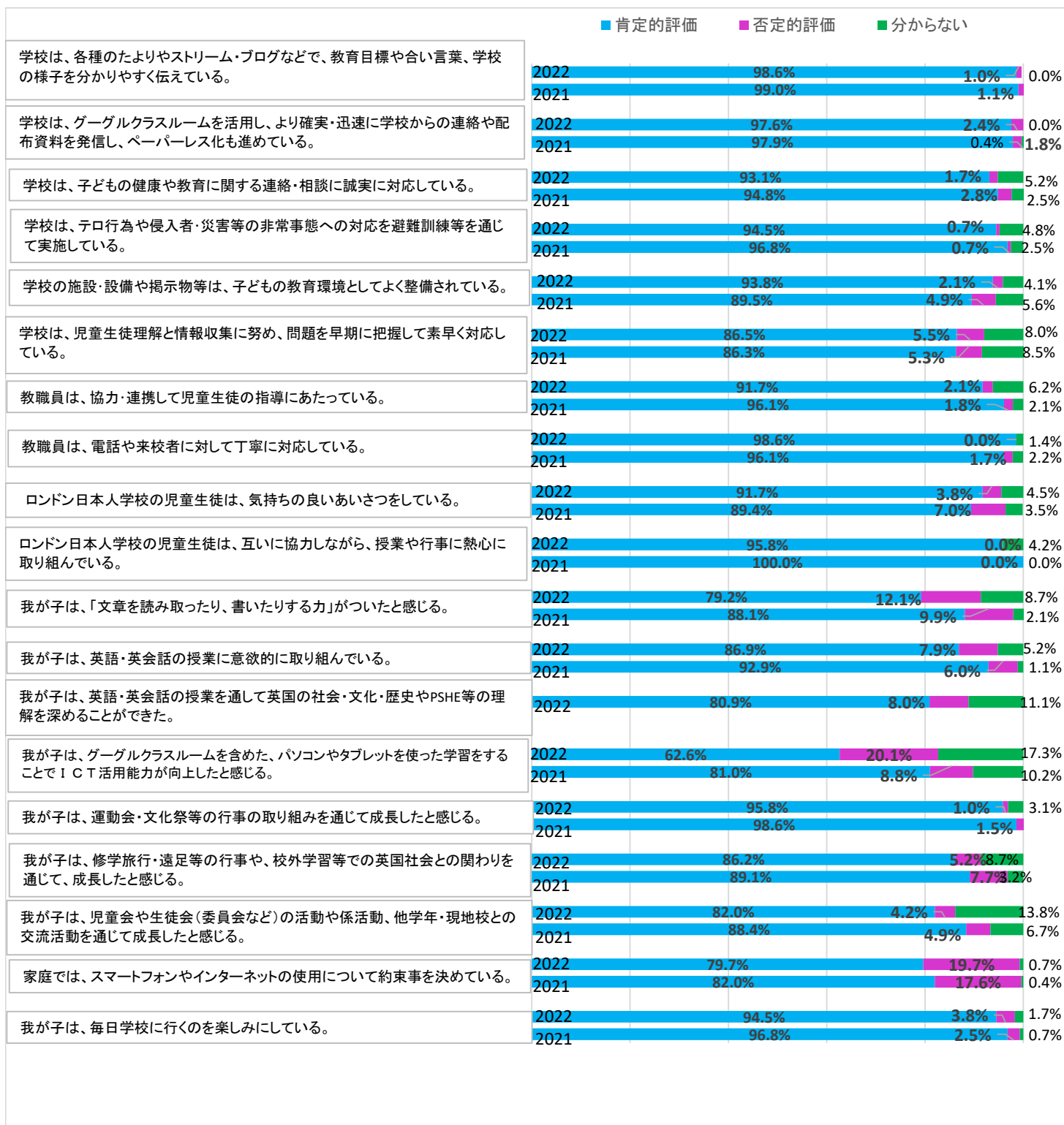
学校・教育評価アンケートではそのほかに、「自由記述」として御意見・御要望、また、我々教職員に対する温かい労いのお言葉を多数いただきました。誠に有難うございます。お寄せいただいた全ての内容を御紹介することは叶いませんが、それぞれの内容を確認し、学校として対応すべきこと、対応可能な内容については次年度に向けて検討・改善を進めてまいります。今後も皆様の信頼に応え、子ども達が「世界を結ぶ架け橋」となる力を身につけるよう、確かな教育実践を継続してまいります。

[ロンドン日本人学校公式 Blog](#)
ロンドン日本人学校の“今”を伝える
公式 blog を御覧ください。

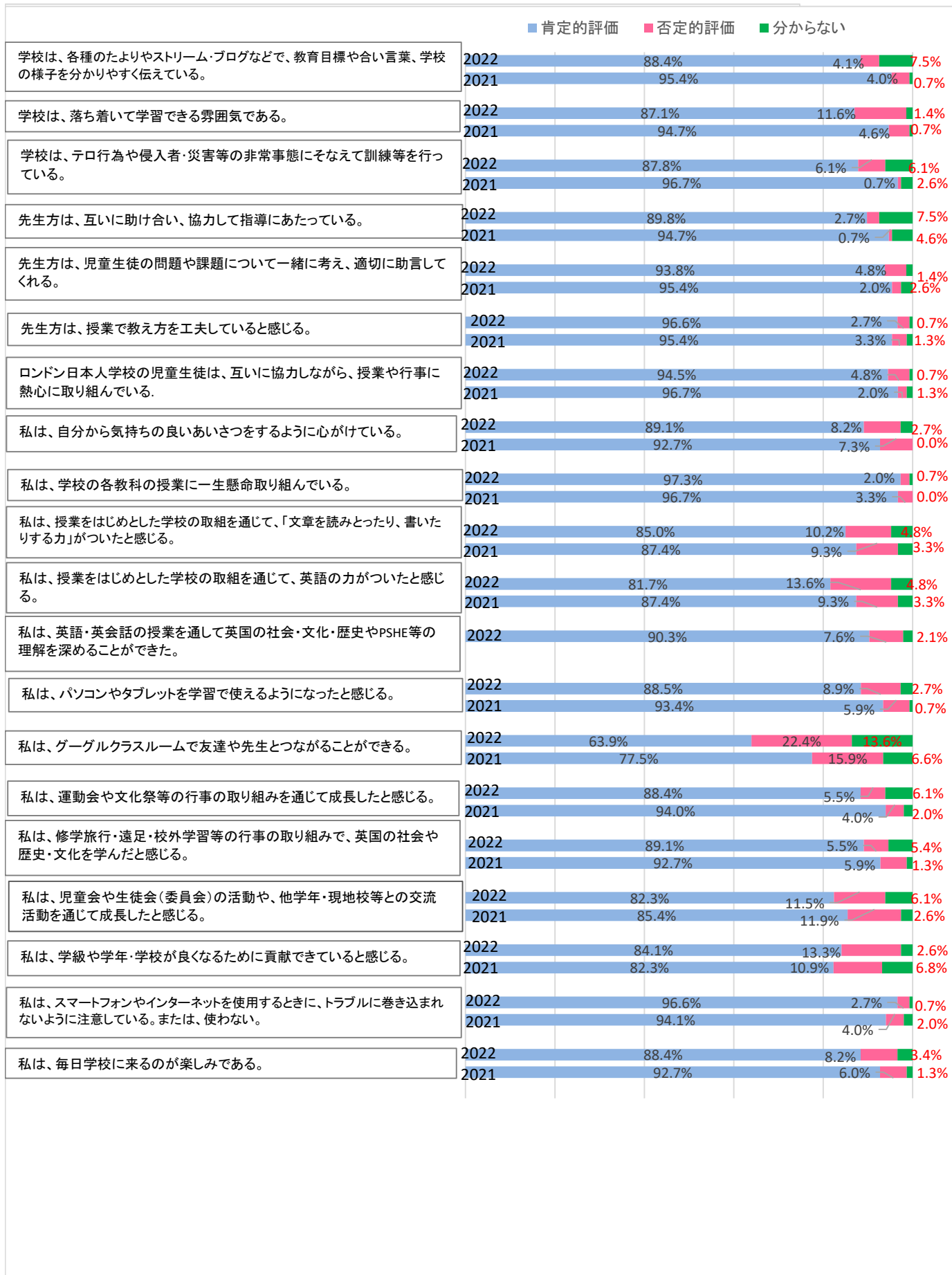


2022年度 保護者による学校・教育評価アンケート集計

回収率95%



2022年度 児童生徒による学校・教育評価アンケート 回収率94%



2022年度 教職員による学校・教育評価アンケート 回収率100%

